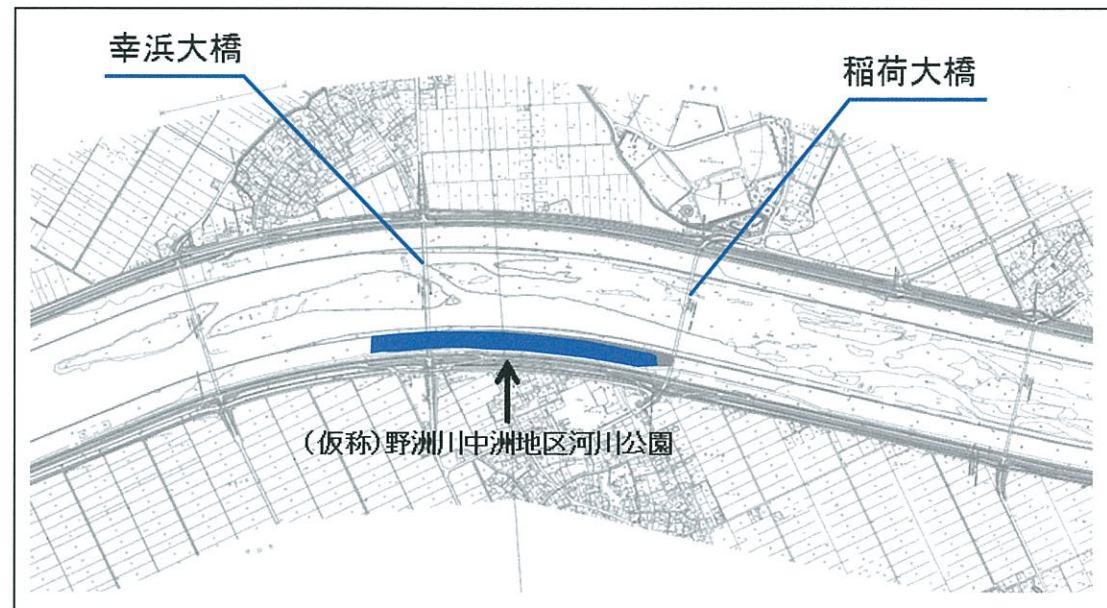


- ⑥地元の理解、意見について、今後も継続して得よう努めていただきたい。
2. 検討の経緯
 平成26年 7月22日 意見照会書の受理
 平成26年 8月28日 第43回委員会
 ・施設予定地の現地調査
 ・申請者による占用許可申請説明書の説明
 平成26年 9月29日 第44回委員会
 ・委員による占用許可施設の審議
 平成26年11月 5日 第45回委員会
 ・委員による意見書(案)の審議
3. これまでに提出した意見書
 なし

以上

(3/3)

■ (仮称)野洲川河川公園の位置の概要



今後の委員会開催予定

- 第46回河川保全利用委員会
 日時：平成26年12月24日(水) 10時00分～
 場所：守山商工会議所 2階 201号室

- 主な審議内容
 「野洲川小浜河川公園、野洲川川田河川公園」に係る審議
 ※審議内容は進行の都合上、変更となる場合があります。

河川保全利用委員会(琵琶湖河川事務所) 委員会ニュース

第45号 2014年12月発行

【編集・発行】河川保全利用委員会(琵琶湖河川事務所)

【連絡先】国土交通省 近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所 占用調整課

〒520-2279 滋賀県大津市黒津 4-5-1

TEL: 077-546-0904(直通) FAX: 077-546-6840

ホームページ●<http://www.biwakokasen.go.jp/kasen-hozen/>

E-mail●info@biwakokasen.go.jp

「河川保全利用委員会」とは、公園など河川敷を占有する施設の新設・更新の許可にあたって、河川環境の保全・再生を重視する観点から、個々の案件毎に学識経験者等の意見を聴いて判断するために設置されたものです。

第45回 河川保全利用委員会(琵琶湖河川事務所)の開催報告

平成26年11月5日(水)に「第45回河川保全利用委員会(琵琶湖河川事務所)」を開催しました。

前回に引き続き、「(仮称)野洲川中洲地区河川公園」について審議を行いました。

申請者の守山市から占用許可申請説明書の補足説明が行われた後、審査表の「今回審議の判断」及び「意見書(案)」について審議を行い、それぞれ確定しました。

意見書は平成26年11月20日付けで琵琶湖河川事務所長に提出されました。(次頁のとおり)。

第45回委員会審議



- 日時：平成26年11月5日(水) 9時30分～12時00分
- 場所：栗東芸術文化会館さくら 1階 研修室
- 参加者：委員4名、河川管理者3名、事務局2名、守山市3名、傍聴者4名

議事次第

1. 開会
2. 議事
 - 1) 第44回委員会活動の整理事項
 - 2) (仮称)野洲川中洲地区河川公園に係る審議
 - (1) 質問事項等について
 - (2) 占用許可申請説明書の補足説明
 - (3) 審査表について
 - (4) 意見書(案)について
 - 3) その他
3. その他
4. 一般傍聴者からの意見聴取
5. 閉会

配付資料

- ・ 議事次第
- ・ 資料-1 第44回河川保全利用委員会 議事骨子整理表
- ・ 資料-2 第44回河川保全利用委員会 審議事項の整理表
- ・ 資料-3 質問事項等について
- ・ 資料-4 占用許可申請説明書の補足説明
- ・ 資料-5 (仮称)野洲川中洲地区河川公園 審査表
- ・ 資料-6 占用許可申請に対する意見書(案)
- ・ 占用許可申請説明書


第五期河川保全利用委員会委員

- 市木敦之 (委員長)
- 竹林洋史 (副委員長)
- 中井克樹
- 村上修一
- 七里啓史
- 桐生のぞみ
- 松村順子

- 立命館大学 理工学部 教授
- 京都大学防災研究所 准教授
- 琵琶湖博物館 専門学芸員
- 滋賀県立大学 環境科学部 教授
- 滋賀県 土木交通部流域政策局 河川・河港室 室長補佐
- 一般公募
- 一般公募

平成26年11月20日

国土交通省 近畿地方整備局
琵琶湖河川事務所長 塚原 隆夫 様

河川保全利用委員会
(琵琶湖河川事務所)
委員長 市木 敦之 

占用許可申請に対する意見書
(守山市 (仮称) 野洲川中洲地区河川公園)

平成26年7月22日付け国近整琵琶調第3号にて意見照会
のありました以下の占用許可申請について、下記のとおり答申
いたします。

占用許可申請施設の概要

名 称	(仮称) 野洲川中洲地区河川公園
場 所	守山市幸津川町地先 (左岸 1.6k 付近～2.4k 付近)
主 な 施 設	自然環境保全・創出広場、自然体験交流広場、緑陰の広場、 駐車場、緩傾斜護岸
申 請 者	守山市
占 用 面 積	約3.05ha (予定)

記

1. 委員会としての判断・意見

「(仮称)野洲川中洲地区河川公園」は、守山市による「守山まるごと活性化プラン
検討委員会学区別会議(中洲地区)」及び「野洲川(中洲地区)かわまちづくり検討委
員会」における地域の意見をもとに、「昔のように水遊びや水辺の散策などができる親
しみのある野洲川の復活」、「野洲川の自然の地形を利用した誰もが安全に利用できる
親水空間」を目的として計画された公園である。

主な施設としては、自然環境保全・創出広場、自然体験交流広場、緑陰の広場、駐車
場、水辺に近づくことのできる緩やかな斜面の護岸の整備を予定している。

利用形態としては、野洲川の自然に親しむ自由利用のほか、地域活性化のための各イ
ベントや小学校における環境教育の場等としての利用が予定されている。

自然環境保全・創出広場を設け、極力人の手を加えないこととし、また、それ以外の
広場についてもより自然に近い形態とすることにより、河川環境への配慮が見られる構
想であるが、環境への影響が明らかでない部分がある。

また、公園の安全管理、施設管理、維持管理のための具体的な計画について定められ
ていない。

当委員会は、河川敷利用の基本理念及び基本方針に則り審査を行った結果、次のよう
に判断した。

本公園は、河川敷利用の基本理念である「川でなければできない利用、川に活かされ
た利用」および河川敷利用の基本方針に沿った目的であり、委員会の掲げる望ましい利
用形態の例である「自然散策等健康増進のための親水空間としての利用」であると認め
られる。ただし、「自然環境保全・創出」について内容が具体的ではなく、また、現在
は水辺に近づくことが容易であるものの、流路等の変化が生じた場合の利用のあり方
について想定がなされていない。

これらのことから当委員会としては、以下のとおり意見を付すことにより、占用許可
については妥当であると判断するものであるが、意見に対する実施状況について、平成
29年度の委員会において、報告を求めることとする。

【占用許可に関連する意見】

- ① イベント及び自由利用についてさらなる促進を図り、利用状況を把握できるよ
う計画されたい。イベントにおいては守山市、主催者それぞれの対応義務を明
確にすること、周辺の交通も含め参加者増対策を定めておくこと、利用者視点
の共同利用のあり方について考えておくことが望まれる。
- ② 広場の表層等施設整備による環境への影響に配慮し、さらに継続的な監視をさ
れたい。
- ③ 安全管理、施設管理、維持管理のための具体的な計画について、以下を踏まえ、
早急に作成されたい。
(1) 砂州の形・高さの変化、水深の変化に対応した安全管理、施設管理。
(2) 川砂の採取、ゴミ投棄等の不法行為に対する監視等の対策。
(3) 低水路への斜路等、水辺付近における子ども、お年寄り、身体障がい者へ
の安全対策。
(4) 継続的かつ適正な草刈等維持管理となるような、方法、頻度等。なお、地
域と協働した維持管理となることが望まれる。
(5) 治水・環境上問題とならない自然環境保全・創出方法。
(6) 安全対策や利用上の注意について、子どもへの配慮をした看板、また広報
への記載や小学校における周知。
- ④ 自然環境の創出と保全の違いを整理し、創出と保全の実現のために本公園にて
実施される内容について明らかにされたい。
- ⑤ 砂州の形状や流路の変化が生じ、斜路を利用し水辺に近づくことが困難になる
ことも想定される。その場合の利用のあり方について検討されたい。